



JICA・SATREPS プロジェクトでベトナム HIV/エイズ対策に寄与した 岡慎一・プロジェクトチーフアドバイザーに「国民健康貢献賞」授与

2023年11月24日

国際協力機構（JICA）ベトナム事務所

2023年11月24日、ベトナム保健省において、岡慎一・国立国際医療研究センター（NCGM）エイズ治療・研究開発センター（ACC）名誉センター長の功績に対し、保健省は「国民健康貢献賞」受賞式を行いました。同賞は、ベトナムの保健医療分野において傑出した功績を残した国内外専門家に送られるもので、岡先生の長きにわたるベトナムの保健医療分野、特に HIV/エイズ治療・予防成績の向上に寄与した活動が高く評価されたものです。受賞式にはベトナム保健省チャン・ヴァン・トゥアン副大臣、保健省 HIV/エイズ予防局（VAAC）ファン・ティ・トゥー・フォン局長、国立熱帯病病院（NHTD）ファム・ゴック・タック院長他多くのベトナム側関係者、更に日本側では在ベトナム日本国大使館佐々木祥平等書記官などが参加されました。チャン・ヴァン・トゥアン保健省副大臣よりメダル・表彰状が授与され、岡先生は「ベトナムの HIV 感染対策は世界に誇れる素晴らしいもの、その一助になったのであればこれ以上の喜びはない」と受賞の辞で述べられました。

現在実施中の JICA・SATREPS¹「ベトナムにおける治療成功維持のための“bench-to bedside system”構築と新規 HIV-1 感染阻止プロジェクト」（以下「HIV/エイズプロジェクト」）の日本側リーダーでもある岡慎一・名誉センター長¹¹は、日本の HIV 感染症診療の改善や新しい治療法開発のための臨床研究、国内外の多施設との技術協力・共同研究の促進など、多大な貢献のある、日本の HIV/エイズ分野の第一人者です。早くから国際協力にも積極的で、NCGM と NHTD を始めとしたベトナムとの協力の歴史は 2005 年にまでさかのぼり、これまでに数々の共同研究プロジェクトを通じ、ベトナムの HIV 診療、HIV 感染者への支援を実施されています。岡先生は、これら国際研究協力を開始当初からリードされ、その功績がベトナム側にも認められ、今回の表彰に至りました。

JICA は HIV/エイズプロジェクトを通じて、ベトナムのパートナーである、NHTD、保健省 VAAC、ハノイ医科大学の専門家と共に抗レトロウイルス薬治療のモニタリング、予防策として普及が進む PrEP（曝露前予防内服）効果検証、HIV ワクチン開発への基礎を築く特殊な免疫反応の解析などを行ってきました。この案件においても、岡先生はプロジェクトチーフアドバイザーとして案件形成時から現在に至るまで、その円滑な実施に多大な貢献をされました。

また、この機会に併せ、NCGM・ACC は保健省 VAAC との研究協力覚書（MoU）に署名しました。これまでの長きにわたる NCGM・ACC とベトナムとの協力、そして岡先生のベトナム保健医療への貢献は、更に続いていくことが期待されます。



お問い合わせ： JICA ベトナム事務所 広報班 関 里緒菜

Tel: (+84-24) 3831 5005(内線 137) E-mail: Seki-Riona@jica.go.jp

ⁱ SATREPS（地球規模課題対応国際科学技術協力）： 感染症対策分野においては、日本医療研究開発機構（AMED）と JICA が共同で実施する、地球規模課題の解決のために日本と現地での研究者との共同研究を通じて行われる技術協力。

ⁱⁱ 岡慎一（おか・しんいち）先生略歴： 米国立衛生研究所のアレルギー感染症研究所（NIAID）客員研究員、東京大医科学研究所感染症研究部助教授を経て、1997年より NCGM・ACC で HIV 感染症診療に従事。2006年より ACC センター長、23年4月より同名誉センター長。